

都市計画マスタープランってなに？

都市計画マスタープランは、**将来に向けて「どんなまちを作りたいか」**を決めて、みんなに分かりやすく示すためのものです。



なぜ都市計画マスタープランを作るの？

愛媛県イメージアップキャラクター
みきゃん【許諾番号：708043】



住みやすく魅力的なまちを作るためには、役場の人だけではなく、住んでいる人や働いている人たちと一緒に取り組むことが大切です。みんなが同じ目標を持って、力を合わせていくために、基本的なルールや、まちの将来像を決めておくことが必要なのです。

■まちづくりの基本理念

町並み、村並み、山並みが美しい
持続的に発展するまち

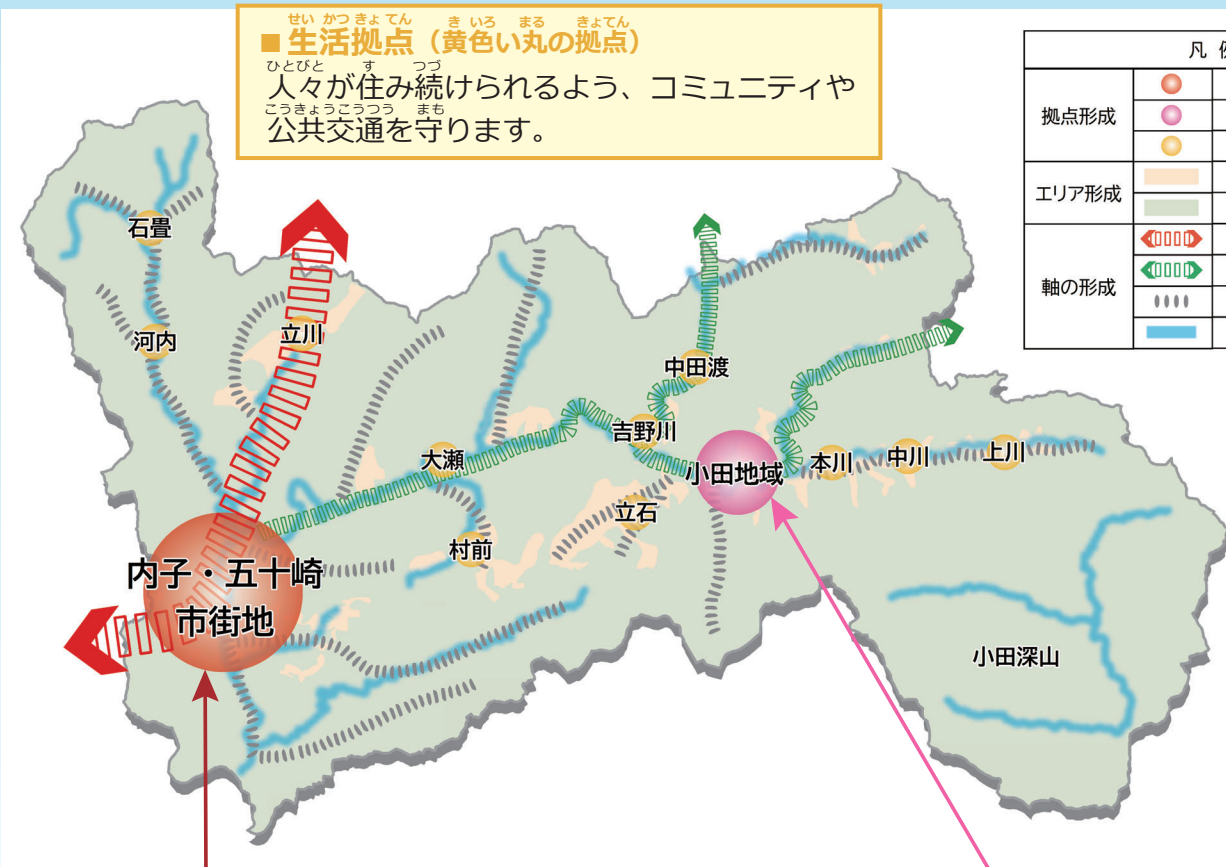
～みんなで創り、未来へつなぐ エコでコンパクトなまちづくり～

■将来都市構造図

地域の特色を活かしたまちづくりを進めるため、「拠点」「エリア」「軸」を決めて、それぞれの役割やつながりを図に表しています。

■生活拠点（黄色い丸の拠点）
人々が住み続けられるよう、コミュニティや公共交通を守ります。

凡 例	
●	都市拠点
●	地域生活拠点
●	生活拠点
■	田園共生エリア
■	自然環境保全エリア
→	広域連携軸
→	地域間連携軸
→	生活連携軸
→	水の軸



■都市拠点（内子・五十崎市街地）
町役場や人々の生活を支える機能が充実し、にぎわいを生み出します。

■地域生活拠点（小田地域）
地域での生活に必要な機能が充実し、地域活性化の中心となります。

立地適正化計画ってなに？

立地適正化計画は、まちなかに住む人や、まちなかに来る人達が、**便利で快適に過ごせるまちをつくるための目標やきまりごと**が決められた計画です。

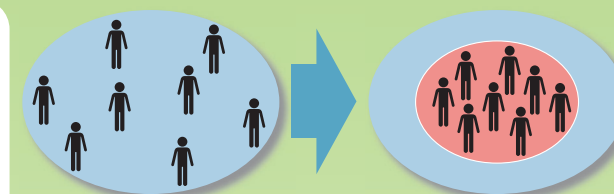


なぜ立地適正化計画をつくるの？

内子町は今、人口がとても減ってきています。同じように、まちなかに住んでいる人もどんどん減ってきていて、まちなかの雰囲気もさみしくなっています。また、お店やバスなどもお客さんが少なくなって困っています。



そこで、立地適正化計画の中で、まちの中に、お店や病院などを集めていく場所や、みんなに住んで欲しい場所を決めて、みんなに集まってもらい、まちなかにぎわいをつくり、そこに住む人やまちなかに来る人達が便利で快適に過ごせるまちをつくっていきます。



人が減っても・・・人や施設がなるべく集まれば、にぎやかさを守れるよ！



■居住誘導区域（青い囲みのエリア）
都市機能誘導区域の周りで、お店や病院などに近く、便利に生活できる場所です。

■都市機能誘導区域（赤い囲みのエリア）
生活を便利にしてくれるお店や病院などが集まっている場所です。

まちなかに住む人や来る人が、**鉄道やバス**を利用して買い物や病院などに楽に行けるまちを目指します。

立地適正化計画をつくるとどうなるの？

このままだと・・・



さらなる人口の減少

立地適正化計画をつくると・・・



未来につながるまちになる！

<お問い合わせ先>

〒795-0392 愛媛県喜多郡内子町平岡甲168番地

内子町 建設デザイン課 (TEL：0893-44-6157)